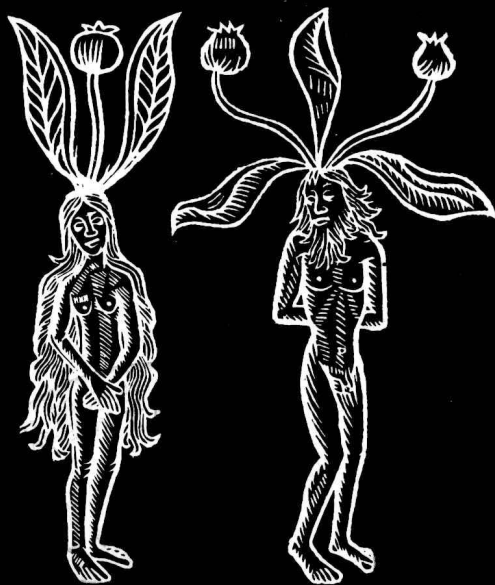




A History of Pornography



ポルノグラフィの歴史

H・M・ハイド著

笹倉貞夫・島岡将・金井公平訳

新泉社

訳者略歴

笹倉貞夫（ささくら さだお）

早稲田大学大学院博士課程修了，茨城大学助教授，
アイルランド文学専攻。

島岡 将（しまおか すすむ）

早稲田大学大学院博士課程修了，茨城大学講師，イ
ギリス文学専攻。

金井公平（かない こうへい）

立教大学大学院博士課程修了，明治大学講師，ア
メリカ文学専攻。

ポエノグラフィ
の歴史

昭和49年4月16日 第1刷発行

著 者 H. モンゴメリー・ハイド

訳 者 笹倉貞夫

島岡 将

金井公平

発行所 株式会社 新泉社

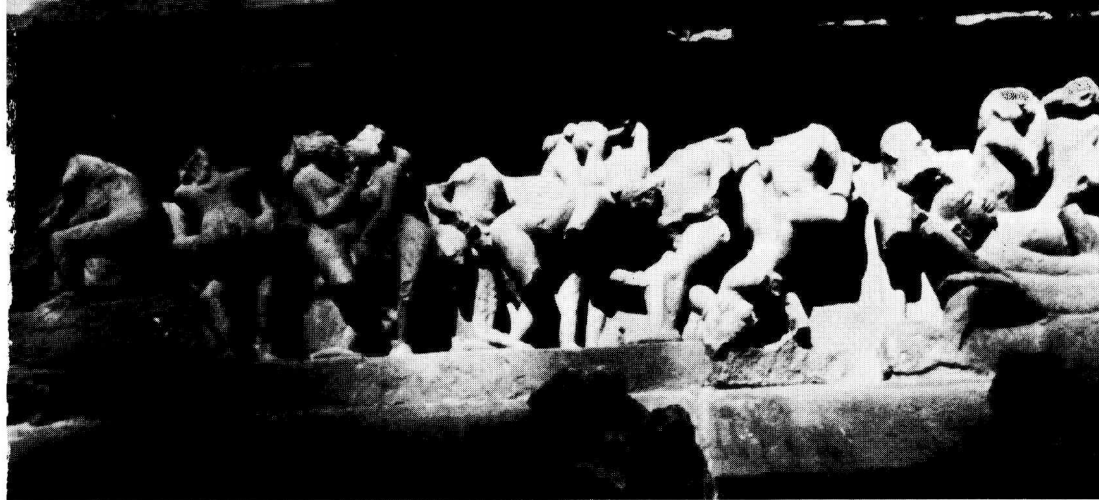
東京都文京区本郷2-15-20

振替・東京160936 電話（812）1662

印刷・啓文堂 製本・今泉蔵文社



肉体賛美 インドのカジュラーホにあるヒンドゥー教寺院の壁画彫刻。10—11世紀チャンドラ王朝期のミトゥナ像は、ヒンドゥー教美術の一特色である官能性がよく發揮されている。



ミトゥナとは、男女一対の意味で、男女の寄り添う形から交合の形まで、その姿は種々様々である。肉体の力、とくに性的な力を神的なものとして尊重した多臂の複雑な姿態。
(撮影 長谷川 建)



人名・事項索引

ア行

- 『愛の快楽』(*The Pleasure of Love*)
133
- 『愛の技術』(*Ars Amatoria*, オウィディウス著) 56-63
- 〈愛の林檎〉(*Pommes d'amour*)〈カザノヴァの避妊法〉の項を参照
- 悪徳協会 130
- 悪徳禁止協会 195-198
- アッシュビー, ヘンリー・スペンサー
(Ashbee, Henry Spencer, 'Pisanus Fraxi')
——と『ファーニイ・ヒル』 120-124
——のエロ文学の愛蔵書と『珍本奇書目録』 18, 134, 199
- アルバーツ, ディヴィッド (Alberts, David), 裁判と判決(合衆国) 216-218
- 『ある放蕩者の冒険』(*The Adventures of a Rake*) 133
- 『アレオパジティカ』(*Areopagitica*, ミルトン作) 検閲に対する非難 16
- アレティーノ, ピエトロ (Aretino, Pietro) 93-95, 119, 148原註 6
- 『あわれ, 彼女は娼婦』(*Tis Pity She's a Whore*, ジョン・フォード作) 176
- 『アンクル・トムズ・ケビン』(*Uncle Tom's Cabin*, H・ビーチャー・ストー作) 161
- 『アントニーとクレオパトラ』(Antony and Cleopatra, シェイクスピア作) 100
- イエロー・ブック(*The Yellow Book*, 雑

- 誌) 136, 207
- 衣装倒錯(Transvestism) 149, 169-170
176
- イタリアの職業的ポルノグラフィ作家たち 133
- 『異端崇拜』(*The Strange Cult*, G. クレメント作) 174
- 『田舎女房』(*The Country Wife*, ウィッチャリーの劇) 102, 118
- 『田舎の風習』(*The Custom of the Country*, ボーモントとフレッチャー) 148原註 7
- 印刷術の発見, 猥褻問題の社会化 13
- インスキップ卿, トマス (Inskip, Sir Thomas) 『孤独の泉』訴訟事件について 8
- インド
- 『カーマ・スートラ』 113-117
- 高級売春婦 139
- 独立以後の厳格な取締り 117
- 猥褻出版物取締法違反に対する罰則 21
- 『インドの愛技』(*The Hindoo Art of Love*) 『カーマ・スートラ』の項を参照
- ヴァーツヤヤナ(Vatsayana, サンスクリット語の作家) 『カーマ・スートラ』 113-118
- 〈ヴィア街団〉('the Vere Street coterie') 162-163
- ウィッチャリー, ウィリアム(Wycherley, William, 王政復古時代の劇作家) 102, 118

『ヴィーナスとアドニス』(*Venus and Adonis*, シェイクスピア作) 100

ウィルクス, ジョン(Wilkes, John); 起訴 15, 194

ウィルソン, メアリー(Wilson, Mary, 売春宿の女将) 126-129

ヴェルレーヌ, ポール・マリー(Verlaine, Paul Marie) 174, 204

ウォート教授, イェイン(Wart, Professor Iain)『ファーニー・ヒル』の訴訟事件の証人として 263-264

ヴォルテール, フランソワ(Voltaire, François) 副業としてのポルノグラフィ 15

『ウォレン夫人の職業』(*Mrs Warren's Profession*, G. バーナード・ショー作) 20

ウールゼイ判事, ジョン(Woolsey, Judge John, 合衆国)ジョイスの『ユリシーズ』に対する画期的な判決

『英国およびその他の国における発禁本』(*The Banned Books of England and Other Countries*, A. クレイグ著) 204

〈英国人の悪癖〉 149, 161

『エクセターの書』(*Exeter Book*) 英国における最初のポルノグラフィ 90-91

エサリッジ卿, ジョージ(Etherege, Sir George) 118

エリザベス一世(Elizabeth I, 英国の女王) 102

エリス, ハヴロック(Ellis, Havelock) エロティシズムと教会の処罰に関する見解 78

オウィディウスの『愛の技術』に関する見解 55-56

カザノヴァについて 110

『孤独の泉』への序文 8

女性の手淫について 110-111

ド・サドに対する評価 150

ミルトンの『アレオパジティカ』の評価 16

猥褻出版物取締法に関する見解 25

〈猥褻〉という用語の語源 4

エリス博士, アルバート(Ellis, Dr. Albert 性科学者)

タブーの影響について 29-30

『ローリータ』について 178

エルンスト, モリス・L. (Ernst, Morris L., 合衆国の法律家)

『孤独の泉』への序文 8

『ユリシーズ』への言及 9-10

エロティックなシンボル(象徴)としての馬と乗馬 62, 71原註7, 178-181

〈可愛い調馬師嬢〉の項を参照

〈エロ本協会〉 131

オウィディウス, 『愛の技術』に関して 55-63

『黄金のろば』(*The Golden Ass*, アープレーイウス作) 68, 73訳註7, 137

オーストラリア, 猥褻出版物取締法違反に対する罰則 21

王政復古期における売春 102

オックスフォード大学出版部, ポルノグラフィ秘密出版のための利用 119

オベリスク・プレス 233

〈オーベルニュの二人の恋人〉 78-79

〈オリスボス〉('olisbos' 人工ペニス) 51

『オリンピア』(*Olympia*, 好色雑誌) 22

オリンピア・プレス 22, 233-235

『女誑し』(*The Philanderer*, スタンリー・カウフマン作)出版社の起訴 10-11

『女の学校』(*L'Escole des Filles*, M. ミ
リロ作) 23-24, 104, 194

カ行

- 絵画, 猥褻な要素としての 14-15
カザノヴァ, ジョヴァンニ 106-111
カザノヴァの避妊法 108-110
カースルメイン夫人(*Castlemaine, Lady*,
チャールズ二世の情婦) 94-99
カナダ, 猥褻出版物取締法違反に対する罰
則 21
『カーマ・スートラ』(*The Kama-Sutra*,
サンスクリット語で書かれたポルノグ
ラフィックな文学作品) 113-118
ガイウス・ペトロニウス (*Gaius Petro
nius*)
皇帝ネロへの〈憎悪〉について 68
『サテュリコン』 66-70, 187
カラッチ, アウグスト(*Caracci, Augusto*)
とアンニバル(*Annibale*), ポルノグラ
フィ画家 133, 212
カール, エドモンド(*Curll, Edmund*, 書
籍商兼出版業者) 猥褻裁判 184,
186-193
『ガルガンチュワ』(*Gargantua*, ラブレール
作) 93
『カレドニアの陽気な詩神たち』(*The
Merry Muses of Caledonia*, パーン
ズの作とされている) 125-126
〈可愛い調馬師嬢〉 178-181
〈エロティックなシンボルとしての馬と乗
馬〉の項を参照

宦官

- エドモンド・カールの出版による——に
関する本 187, 189-190
シェイクスピアの『アントニーとクレオ

パトラ』における—— 100

『カンタベリー物語』(*The Canterbury
Tales*, チョーサー作) 91-92

『官能主義者内閣』(*The Voluptuarian
Cabinet*) 126-129

起訴統計値1956-1961 239原註6

キャリングトン, チャールズ(*Carrington,
Charles*, ポルノグラフィの出版業者)
209-211

キャンベル卿(*Campbell, Lord*) 風俗壊乱
出版物取締法(1857) 16-17

〈キャンベル卿法令〉 風俗壊乱出版物取締
法(1857)を参照

教会

猥褻と—— 13, 75-78, 236

『禁書目録』を参照

教皇庁の『禁書目録』とポルノグラフィ
88-89, 183-184

キリスト教会の贖罪のための鞭打ち
75-78

ギルバートとサリバン, 『男色者のオペラ』
165

『禁書目録』(カトリック教会の『禁書目録』)
89, 183-184

近親相姦 (incest) 149-150, 176

キンゼー博士, アルフレッド(*Kinsey, Dr.
Alfred*) キンゼー調査報告 22-23,
27-31, 212, 229, 238

クウィネル, ピーター(*Quennell, Peter*)
『ファーニー・ヒル』裁判の証人とし
て 246-254

クラナッハ, ルーカス (*Cranach, Lucas*,
クラナッハ兄弟の兄; ドイツの画家)
14

グラナナン委員会(*Granahan Committee*,
合衆国) 21, 26

〈グラフィーティ〉(*graffiti*) 〈公衆便所に

描かれた卑猥な落書き)の項を参照
 クラフト=エービング, R. (Krafft-Ebing
 R.) 66, 152
 グリフィス, ラルフ (Griffiths, Ralph,
 ロンドンの書籍商) 『ファーニー・ヒ
 ル』出版による利益 121
 <クリーヴランド醜聞事件> 162-164
 グリーン, グレアム (Greene, Graham)
 『ロリータ』への注目 177
 グルック, シェルダン及びエレナー (Gluck,
 Sheldon and Eleanor, 米国の社会研
 究家) 27
 クルックシャンク, アイザック (Cruik
 shank, Isaac, 英国の諷刺漫画家)
 125, 134
 クルックシャンク, ジョージ (Cruik
 shank, George, 英国の諷刺漫画家)
 134
 クレランド, ジョン (Cleland, John, 『フ
 ァーニー・ヒル』の作者) 121
 『黒い日誌』(The Black Diaries, ロジャ
 ー・ケイスメント作) 175
鶏姦(Pederasty)
 古代ギリシアにおける 35, 52-55
 <同性愛>の項をも参照
 『警句』(Facetiae, ポッチョ・ブラチオリ
 ーニ作) 92
 ケイスメント卿, ロジャー (Casement, Sir
 Roger) 175
 『毛皮を着たヴィーナス』(Venus in Furs,
 ザッヒェル=マゾッホ作) 151-152
検閲 183
 ガーシング委員会 (Gathings Commit-
 tee, 合衆国) 224-225
 『恋には恋』(Love for Love, コングリー
 ヴの劇) 102
 ミルトンの——の憎悪 16, 99

<公益>, 猥褻出版物告発に対する反対弁論
 における 6-7, 11
 強姦のすすめ, 女はそれを待っている
 58
高級売春婦
 古代ギリシアにおける—— 42-49
 ローマの女帝テオドラ 74-75
 公衆便所の壁に描かれた卑猥な落書き
 28-29
 好色なぞなぞ 90-91
 コーガン (Coggan, Dr. F. G., 英国ヨーク
 の大司教) 若者の墮落について 236
古代ギリシア
 ギリシアにおけるポーノグラフィ
 49-55
 同性愛と鶏姦 35, 52-55
 同性愛における<異常性> 53-55
 売春婦 42-49
 裸体に対する態度 14
 両性愛 52-53
 コックバーン (Cockburn, アメリカの判事
 ヒックリン訴訟事件) 5, 202-204
 『孤独の泉』(The Well of Loneliness,
 ラドクリフ・ホール作)
 現在自由に入手できる 174
 ——出版業者に対する起訴 6-9
 <コムストックリー> ('Comstockery')
 20, 195
**コムストック, アンソニー (Comstock,
 Anthony, 合衆国郵便検閲官) 20**
 『ウォレン夫人の職業』告発に対するバ
 ーナード・ショーの反駁 20
 コムストック法 (1873: 合衆国) 20
 ゴヤ, フランシスコ (Goya, Francisco,
 スペインの画家) 14
 コングリーヴ, ウィリアム (Congreve,
 William, 王政復古期の劇作家) 102

サ行

『サヴォイ』(*The Savoy*, 雑誌) 136-137

サヴォナローラ(Savonarola)〈虚飾物焼却の火〉 89

挿絵の重要な役割, ポーノグラフィにおける 132-137

サック('sheaths'の避妊具)カザノヴァ 109

ザッヒエル=マゾッホ, レオポルド・フォン(Sacher-Masoch, Leopold von) 性的倒錯 15, 149-152

サディズム

ザッヒエル=マゾッホ 151

ベンヴェヌスト・チェリーニの作品における 95-97

用語の起源 15

ローマ帝国における 63-67

『サテュリコン』(*Satyricon*, ガーユス・ペトロニウス作) 66-70, 187

サド, マルキ・ド(Sade, Marquis de) 性的倒錯 15, 149-151

『さまよえる娼婦』(*The Wandering Whore*) *La Puttana Errante* (36原註6, 148原註6)を参照

サムナー, ジョン・S. (Sumner, John S.) ニューヨーク猥褻文書取締協会書記と『孤独の泉』訴訟事件 8

サラ, ジョージ・オーガスタ(Sala, George Augusta) 178-179

『サロメ』(*Salomé*, オスカー・ワイルド作) ピアズリーの挿絵 14, 136-137

サンガルの騎士(Seingalt, Chevalier de) 〈ジョヴァンニ・カザノヴァ〉の項を参照
産児制限, ブラッドローのパンフレット告

発事件 12

シェイクスピア, ウィリアム(Shakespeare, William) 作品に見られる猥褻性 15, 100-102

色情狂(nymphomania) 176

死体愛好症(necrophily) 176

『失楽園』(*Paradise Lost*, ミルトン作) 118

写真の効用, エロ作品制作における 135

シャドウエル, トマス(Shadwell, Thomas, 劇作家兼詩人) 157

手淫(masturbation)

カザノヴァの避妊法と—— 111原註4

キンゼーの調査報告 238

サミュエル・ピープスと—— 24

女性と—— 111原註4

性的逸脱としての—— 176

『修道院のヴィーナス』(*Venus in the Cloister*, デュ・プラ神父作) 120, 190-191

『淑女住所氏名録』(売春婦名簿) 195, 229-230

『純潔なるものによせて』(*To the Pure*, エルンストとシーグル作) 70原註1, 203-204

〈純粹な〉愛と〈単なる〉情欲との混同 35

ショー, G. バーナード(Shaw, G. Bernard)

——とアンソニー・コムストック 20

——とフランク・ハリスの自叙伝 147

ジョイス・ジェームズ(Joyce, James)『ユリシーズ』と合衆国 9

〈小アイザック〉彼の正体 125

〈正真正銘〉のポーノグラフィ 19

少年犯罪, 猥褻出版物の影響による 26-28

『娼婦』(*Ragionamenti*, アレティーノ作)

ジョージ三世 (George III, 英国国王) 猥褻
文書禁止の布告 195

処女凌辱 (defloration) 68, 176-178

『女性の十五の伝染病』 (Fifteen Plagues
of a Maidenhead) 120

『女性の性行為』 (Sexual Behaviour in
the Human Female, A. キンゼー著)
22

女性のための男性売春宿 127-129

『女性論』 (Essay on Woman, ジョン・
ウィルクス) 15, 194, 199

ジロディアス, モーリス 22

オリンピア・プレス 175

もっとも活躍している今日のポルノグラ
フィ出版業者 233-235

シンクレア, アプトン (Sinclair, Upton)
フランク・ハリスの自叙伝への言及
144

人工ペニス, 〈オリスボス〉の項を参照

『神聖な死』 (Holy Dying, ジェレミ・
テイラー司教著) 72原註17

『人生の浮沈』 (The Ups and Downs of
Life, セロン作) 138

スウィンバーン, アルジャノン・チャールズ
(Swimburne, Algernon Charles)

『唄と歌謡』 199

鞭打ちに対する強迫観念 15, 159

スウェーデン, 猥褻出版物取締法違反に対
する罰則 21

スターン, ロレンス (Stern, Laurence,
英国の作家) 赤裸々な性描写を含む作
品 15-16, 120

ステイブル判事 (Stable, Mr. Justice)

『女衒し』訴訟事件について 10-11

ステッド, W. T. (Stead, W. T.) 猥褻文
書に反対するキャンペーン 162, 177

ストー博士, アンソニー (Storr, Dr. Antho-
ny) 『ファニー・ヒル』訴訟事件の証
人として 64

スマイザーズ, レナード・チャールズ (Smi-
thers, Leonard Charles, 出版業者)
205-208

スミス, シドニー (Smith, Sydney) 猥褻
文書取締協会について 197

スモレット, トバイアス (Smollet, Tobias
英国の作家) 赤裸々な性描写を含む作
品 15, 120

〈性語〉 ('four-letter words')

『チャタレー夫人の恋人』における——
17

ラブレーとヴェルレーヌにおける——
204

『聖書』

——における売春婦 38-42

——におけるポルノグラフィ 13, 38-
42

性知識, 青少年の——の源泉 27-28

聖テレサ (St Theresa, カルメル会修道尼)
と鞭打ち 77

性典のコレクション 18

『性の民俗学』 (The Folklore of Sex, A.
エリス著) 29-30

性犯罪, ポルノグラフィに原因するもの
26-27

性病

偽りの効能 187

——の治療宣伝の違法性 18

セイロン, 猥褻出版物取締法違反に対する
罰則 21

「接吻」 (The Kiss, ロダンの彫刻) 14

節片淫乱症 (fetichism) 149, 176, 178

セドレー卿, チャールズ (Sedley, Charles)
猥褻な悪戯 103

セロン, エドワード (Sellon, Edward)
138-140
『センチメンタル・ジャーニー』 (A
Sentimental Journey, スターン作)
エロティックな挿絵 135
『1762年のニュー・アトランティス島』
(*New Atlantis for the Year 1762*)
抜粋 124-125
『1601年』 (マーク・トウェイン作) 132
ゾラ, エミール (Zola, Emile)
『大地』の出版業者の告発 12
——と『禁書目録』 184
『マノン・レスコー』 137
ソ連, 猥褻出版物取締法違反に対する罰則
21

タ行

大英博物館, 猥褻な作品のコレクション
18, 211-212
『大地』 (*La Terre*, ゾラ作) 出版業者の
告発 12
『タイムズ』 (*The Times*) 『チャタレー夫
人の恋人』 17
ダグデル, ウィリアム (Dugdale, Wil-
liam, ポーノグラフィ出版業者) 130
138, 157, 166, 198-199
ダッシュと星印 (猥らな語句の表現を避け
る文学上の技法) 104
タブーの影響力 29-30
男根象徴, リチャード・ペイン・ナイトの
想像力 129
男色 (Sodomy) <同性愛> の項を参照
『男色者のオペラ』 (*The Sod's Opera*, ギ
ルバートとサリバン作) 165
男女の猥褻文学に対する性的反応の比較
29-30

男性器接吻 (*fellatio*) 68
チェリーニ, ベンヴェヌスト (Cellini,
Benvenuto) 95
『自叙伝』 95-97
『チャタレー夫人の恋人』 (*Lady Chat-
terley's Lover*, D. H. ロレンス作)
17
インドにおける発売禁止 113
合衆国と—— 147
チャールズ二世 (Charles II, 英国の国王)
宮廷における放縱な生活 102-103
中世ヨーロッパにおける<遊歴学生>の卑猥
な詩 79-81
チョーサー, ジェフリー (Chaucer, Geof-
frey) ボッカッチョからの影響 91
『綱渡り』 (*The Tighrope*, スタンリー・
カウフマン作) 『女誑し』の項を参照
貞節, 守らせる教会の方法 75-78
貞操帯 81
テイラー司教, ジェレミィ (Taylor, Bish-
op Jeremy) 『神聖な死』に見られるポ
ーノグラフィックな物語 72原註17
ディルケ卿, チャールズ (Dilke, Charles)
離婚醜聞事件と暗示的な挿絵
14-15
ディングウォール博士, エリック (Dingwall,
Dr. Eric, 英国の人類学者)
『異常な人々』 111原註1
<純潔な> 愛と <単なる> 情欲について
34-35
テオドラ (Theodora, ローマの女帝) 性欲
と倒錯 74-75
『デカメロン』 (*The Decameron*, ボッカ
ッチョ作) 82-90, 138
『できることなら彼女はそうしように』
(*She Would If She Could*, エサリ
ッジ作) 118

デフォー, ダニエル(Defoe, Daniel) 赤裸
な性的描写を含む作品 15, 120, 189
デーモステネース(Demosthenes) 家庭婦
人と売春婦に関して 42
『テレンィ』(Teleny, オスカー・ワイル
ド作) 170-174

トウェイン, マーク(Twain Mark)エロテ
ィックな諷刺 132

倒錯のポノーグラフィ 149-182

以下の項目を参照〈処女凌辱〉〈露出症〉
〈節片淫乱症〉〈鞭打ち〉〈同性愛〉〈近
親相姦〉〈マゾヒズム〉〈手淫〉〈死体
愛好症〉〈鶏姦〉〈サディズム〉〈衣装
倒錯〉

同性愛(homosexuality)

ヴィクトリア朝時代の英国における——
166-175

古代ギリシアにおける—— 35, 52-55
男性の裸体に対する男性——者の反応
29

次項ならびに〈鶏姦〉の項を参照

同性愛(Lesbianism)

古代ギリシアにおける〈奇癖〉としての
—— 54

『孤独の泉』の主題としての—— 6-9
作家における—— 174

トゥルーズ=ロートレック, アンリ・ド
(Toulouse-Lautrec, Henri de)
133

『トム・ジョーンズ』(Tom Jones, フィー
ルドディング作) エロティックな挿絵
120

トムプソン, ジョージ(Thompson, George
アメリカの作家) 131

ドライデン, ジョン(Dryden, John)
118

『ドリアン・グレイの肖像』(The Picture

of Dorian Gray, オスカー・ワイルド
作) ワイルド裁判 31-34

『ドーリー・モートンの回想』(The Mem-
oirs of Dolly Morton, レベル作)
160

〈取締官〉, ポノーグラフィに関する報告
185

『トリストラム・シャンディ』(Tristram
Shandy, スターン作) エロティックな
挿絵 120

『トロイラスとクレシダ』(Troilus and
Cressida, シェイクスピア作) 100

ナ行

ナイト, リチャード・ペイン(Knight,
Richard Payne) 129, 199

ナボコフ, ヴラジミル(Vladimir Nabokov
『ロリータ』の作者 177, 234

ニコルズ, H. S. (Nichols, H. S., ポノー
グラフィ印刷業者) 206-207

西ドイツ, 猥褻出版物取締法違反に対する
罰則 21

日本, 猥褻出版物取締法違反に対する罰則
21

ニュージーランド, 猥褻出版物取締法違反
に対する罰則 21

ニューヨーク, 猥褻文書取締協会 8

ノルウェー, 猥褻出版物取締法違反に対す
る罰則 21

ハ行

売春婦

インドにおける—— 139

ギリシア人の生活と文学における——
42-49

コンスタンティノーブルにおける——
 75
 〈女性のための男性売春宿〉の項を参照
 聖書における—— 38-42
 ——のための〈悔悛の家〉 75
 ハイド, H. モンゴメリー (Hyde, H.
 Montgomery) 『ファーニー・ヒル』
 訴訟事件の証人としての 254-258
 バイロン卿 (Byron, Lord) 165-168
 バイロン卿, チャールズ (Biron, Charles)
 『孤独の泉』訴訟事件 6-7
 バウドラー, トマス (Bowdler, Thomas)
 シェイクスピアの原作の削除改訂版
 15
 バエディカティオ (Paedication, (sodomy)
 男性同性愛者) 〈同性愛〉の項参照
 パキスタン, 猥褻出版物取締法違反に対す
 る罰則 21
 パーク, フレデリック・ウィリアム (Park,
 Frederick William, 衣装倒錯者)
 169-170
 バークリー夫人, テレザ (Berkley, Mrs.
 Theresa; 鞭打ち店) 155
 バーケット, ノーマン (Birkett Norman,
 後のバーケット卿) 『孤独な泉』の出版
 業者たちの弁護 6-7
 バシュリエ, ジャン (Bachelier, Jean, フ
 ランスの彫刻家) 133
 バートン卿, リチャード (Burton, Sir Rich-
 ard) 116, 206
 パブリック・スクールと同性愛 162
 ハミルトン卿, ウィリアム (Hamilton,
 Sir William, ネルソンの恋人〈エマ〉
 の夫) 129
 ハリス, フランク (Harris, Frank, ポーノ
 グラフィックな著作家) 138, 143-147
 バーナード・ショーの評言 147-148

ワイルドの見解 144
 バーンズ, ロバート (Burns, Robert, スコ
 ットランドの詩人) 125-126
 『パンタグリュエル』 (*Pantagruel*, ラブレ
 ー作) 93
 パンダラス (Pandarus, 男の売春媒介者と
 いう原意をもつシェイクスピア劇中の
 登場人物の名前) 100
 ビアズリー, オーブリー (Beardsley,
 Aubrey) 14, 133
 出版業者と編集者の〈たえざる破滅の原
 因〉 136
 猥褻雑誌の美術担当者として 136
 ワイルドの評言 137
 〈わたしの猥褻な絵をすべて破棄せよ〉
 137
 ピアッツィの聖マリア・マグダレーナ
 (St Maria Magdalena of Piazzi,
 カルメル会修道尼) 鞭打ち 77
 ピサヌス・フラクシ ('Pisanus Fraxi');
 〈アッシュビー〉の項を参照
 『七賢人物語』 (*The Heptameron*, パロ
 ワのマルグリット作) 93
 ヒックリン訴訟事件(合衆国) 9, 10, 201-202
 ビットマン・ロバート (Pitman, Robert)
 『ファーニー・ヒル』訴訟事件での証
 人としての 264-266
 ビット=リバーズ, マイケル (Pitt-Rivers,
 Michael) 裁判と投獄 175
 ビープス, サミュエル (Samuel, Pepys),
 『女の学校』 23-25, 104
 清教徒時代の羞恥心の残滓 104
 チャールズ・セドレー卿の悪戯にかんす
 る説明 103
 ——と手淫 24
 ビューリタン
 性と猥褻に対する態度 13-14, 16

地下に追いやられたポルノグラフィ 117
 中産階級と下層階級に与えた影響 104
 ——とシェイクスピア 99
 ——と貞節 102
 『ファーニー・ヒルの生涯の回想』 (*Memoirs of the Life of Fanny Hill*, ジョン・クレランド作) 英国性典の傑作 121
 合衆国と『ファーニー・ヒル』 123
 ——挿絵画家 134
 小説の筋 121-123
 同性愛の挿話 165
 鞭打ちの場面 156
 ロンドンでの告訴と裁判 (1963) 241-271
 ファルコネ, エティエンヌ (Falconet, Etienne, フランスの彫刻家) 133
 フィールドینگ, ヘンリー (Fielding, Henry, 英国の作家) 赤裸な性描写を含む小説 15, 120
 風俗壊乱出版物取締法 (1857) 16, 19, 119, 200
 風俗壊乱出版物取締法 (1959) 11, 19, 200-201
 『風流艶婦伝』 (*Lives of Fair and Gallant Ladies, Vies des Dames Galantes*, ブラントーム作) 30, 97
 フェラチオ (fellatio) 〈男性器接吻〉の項を参照
 フェル博士, ジョン (Fell, Dr John, オックスフォード大学クライスト・チャーチ学寮の学生監) ポルノグラフィ秘密出版のための大学出版部の利用 119
 ブシェ, フランソワ (Boucher, François, フランスの画家) 14, 133
 ブドウ酒と愛に対するオウィディウスの警告 56-57

プラウトゥス (Plautus) の『喜劇』 68
 フラゴナール・ジャン (Fragonard, Jean, フランスの画家) 14, 133
 ブラチオリニ, ポッチョ (Bracciolini, Poggio) 猥褻な作品 92
 ブラッドロー下院議員, チャールズ (Bradlaugh, Charles, M. P.) 産児制限のパンフレット 12
 プラトーン (Platon) と同性愛 52-53
フランス
 エロティカの多量な国際取引 22
 熟練したポルノグラフィ作家 133
 猥褻出版物取締法違反に対する罰則 21-22
 ブランドル卿, ロバート (Blundell, Sir Robert, 主席判事) 『ファーニー・ヒル』訴訟事件 241, 266, 271
 ブラントーム, アベ・ド (Brantôme, l'Abbé de) 30, 97-99
 『プリアーポス崇拜に関する論文』 (*A Discourse on the Worship of Priapus*, R. P. ナイトとウィリアム・ハミルトン著) 129, 199
 ブルトン, アーネスト (Boulton, Ernest, 衣装倒錯者) 169-170
 ブルトンヌ, レティフ・ド・ラ (Bretonne, Restif de la) 111原註4
 浮浪罪法 (1824), その影響 197
 ヘイラー, ヘンリー (Hayler, Henry), エロ写真 135
 ベサント, アニー (Besant, Annie)
 産児制限のパンフレットの配布のかどで告訴される 12
 『聖書』に見られるポルノグラフィックな箇所の一覧表 42
 ペトロニウス (Petronius) ガーユス・ペトロニウスの項を参照

『ベラ・ヒストリア』(*Vera Historia*, ルシアン作) 136

ベルギー

—における熟練したポルノグラフィ作家 132-133

猥褻出版物取締法違反に対する罰則 21

ヘロイ (Heloï); ミリロ, ミッシェルの項を参照

ペンギン・ブックスと『チャタレー夫人の恋人』 229

ホイットマン, ウォルト (Whitman, Walt) 同性愛 174

『法に背いて』(*Against the Law*, P・ワイルドブラッド作) 175

ホーガース, ウィリアム (Hogarth, William, 英国の画家) 134, 157

ボズウェル, ジェームズ (Boswell, James) 恋愛体験談 104-106

ボッカッチョ, ジョヴァンニ (Boccaccio, Giovanni)

オウィディウスの『愛の技術』 55-56

現代的ポルノグラフィの最初の作品としての『デカメロン』 82-90

ホッテン, ジョン・カムデン (Hotten, John Camden, 出版業者) 199

ボードレール, シャルル (Baudelaire, Charles) 174

ポルノグラフィックな定期刊行物 21-22 131, 135-136

「ポルノグラフィと猥褻」(*Pornography and Obscenity*, D. H. Lawrence) 5

ポルノグラフィの通信販売による収益 21

ポルノグラフィ, 用語の起源と猥褻との区別 3-4

ポープ=ヘネシー, ジェームズ Pope-Hennessy, James) A. カラッチの絵について 212

ボーモントとフレッチャー (Beaumont and Fletcher) 148原註7

ホーリウエル街 (Holywell Street, ロンドン), ポルノグラフィ取扱業者 198, 205

ホール, ラドクリフ (Hall, Radclyffe); 彼女の『孤独の泉』の出版業者告発 6-9

マ行

マコーリ男爵, トマス (Macaulay, Thomas), 文学の検閲 118

マゾヒズム (Masochism)

言葉の語源 15, 152

〈ザッヒェル=マゾッホ〉の項を参照

マッカーシー, デズモンド (MacCarthy, Desmond) 『孤独の泉』の弁護 6

マネ, エドワール (Manet, Edouard, フランスの画家) 14

マルティアーリスの『エピグラム集』(*Martial's Epigrams*) 68

南アフリカ, 猥褻出版物取締法違反に対する罰則 21

ミラー, カール (Miller, Karl) 『ファニー・ヒル』訴訟事件における証人としての 258-259, 266

ミラボー伯爵, ガブリエル (Mirabeau, Gabriel, Comte de, フランスの政治家) 副業としてのポルノグラフィ 15

ミリロ, ミッシェル (Millilot, Michel, フランスの作家) 36原註5, 194

ミルトン, ジョン (Milton, John) 検閲反

対運動の煽動 16, 99
 ミルンズ, モンクトン(Milnes, Monckton
 後のホートン卿) 彼のエロティカのコレク
 ション 18, 214
 『ムーア人の後宮での一夜』(*A Night in a
 Moorish Harem*, ジョージ・ハーバ
 ート卿作) 130-131
鞭打ち
 サド侯爵と—— 149-150
 宗教団体, 学校などにおける—— 76-
 78, 154
 女性と—— 154-162
 スウィンバーンの強迫観念 15, 159
 ——に関する本と論文 190-191
 売春鞭打ち組織での—— 126-129, 155
 『ファーニー・ヒル』の挿話 156-157
 〈メアリー・アン〉, 男娼の仮名として
 168
 メイフラワー書籍会社と『ファーニー・ヒ
 ル』訴訟事件 242
 モラヴィア・アルベルト (Moravia, Al-
 berto) 彼の発禁小説 184
 『モル・フランダーズ』(*Moll Flanders*,
 ダニエル・デフォー作) 120
 モンターギュ訴訟事件 175
 モンタルクのポートルーツキ伯爵 204
ヤ行
 郵便検閲制度 (合衆国), 検閲の 19-20
ラ行
 ラスキ, マーガニタ(Laski, Marghanita)
 『ファーニー・ヒル』訴訟事件での証
 人としての 259-262
 ラッセル, バートランド (Russell, Ber-

trand) ポーノグラフィについて 25
 ラテン文学に見られる猥褻 68-70
 ラブレール, フランソワ (Rabelais, Fran-
 çois) 93-94, 204
 ランボー, ジャン・ニコラ (Rimbaud,
 Jean Nicolas) 174
 リード, ロルフ・S. (Reade, Rolf S.) エ
 ロティカの目録 19, 124, 211
 『リューストラター』(『女の平和』)(*Ly-
 sistrata*, アリストパネース作) 49
 -51, 137
 両性愛 (bisexuality) 古代ギリシアにおけ
 る 52-53
 リンドレー, アレグザンダー (Lindley,
 Alexander, 合衆国の弁護士) 『孤独の
 泉』の擁護 8
 『ルークリースの凌辱』(*The Rape of Lu-
 crece*, シェイクスピア作) 100-102
 『ルクレティウスの第四の書の翻訳』
 (*Translations from the Fourth Book of
 Lucretius*, ドライデン訳) 118
 ルソー, ジャン・ジャック (Rousseau, Jean
 Jacques) 154
 レ, ジル・ド (Rais, Gilles de, 幼児殺し)
 237
 『レズビア・ブランダン』(*Lesbia Bran-
 don*, スウィンバーン作) 15, 159
 「レダと白鳥」 14
 『レディング監獄のうた』(*Ballad of
 Reading Gaol*, ワイルド作) 207
 レンブラント, ハルメンス・ファン・リー
 ン (Rembrandt, Harmenszoon van
 Ryn) 14
 露出症 (exhibitionism) 176
 ローズ・アルフレッド (Rose, Alfred) 〈リ
 ード, ロルフ・S.〉の項を参照
 ロス, サミュエル (Roth, Samuel) 起訴と